

朝日峯

(688m)

実施日：10 月 9 日（木）

天 候： 晴

参加者： 4 名 細田、川鍋、田中、牧野

行 程： JR バス「高雄」BS 8：40→9：13 波切不動尊 9：15→9：54 谷山 6 号橋 9：58→11：10 松尾峠
11：15→11：30 朝日峯頂上 12：10→13：21 林道終点 13：25→13：59 峰山 14：15→15：00「梅ノ尾」BS

朝日峯は、「裏愛宕」と呼ばれる愛宕山北方の山域に位置する 688^{トル} の峰。

これまで幾度か雨で流れてきた山行企画であるが、今回は快晴の下、やっと実施できた。

バスは出発点の高雄に定刻通りに到着した。4 名の参加者は、清滝川を越えて、支流の谷山川に沿う林道を北上する。秋分を 2 週間余り過ぎても、暑かった夏の余韻か、身体を動かすと汗ばむ。だが、風があって心地よい。伊豆諸島では大変な台風なのだが。少し遡ったところで対岸に鳥居が立ち、「浪切不動尊像」。傍らに滝が落ちるも、雫のような水量では修行にならない。林道に戻り、谷山 5 号橋少し手前で道の両側に大きな岩が鎮座する。周囲の藪にその迫力を隠され、惜しい。次の 6 号橋を渡ると、林道と谷山川から離れ、山道に入る。いきなり路上を雑草が覆い、前途多難を思わせるが、森に入ると障害はなくなる。道は、折り返しを重ねて上ってゆく。右前方に、梅尾に伸びる尾根が見えてくる。この尾根の一角に山頂がある。山道を登り詰め、尾根道に出、更にサカサマ峠方面からの林道に合流した。鎌倉時代からという地蔵尊を過ぎ、松尾峠に到達。一息入れた後、林道を右に取り、少し先で、朝日峯に向かう山道が左に分岐。これを辿り山頂に到着。ここまでコースタイム 2 時間余のところを、休憩を入れて 3 時間弱所要した。昼食休憩の後は林道に戻り、梅尾に向かう。林道はずっと尾根道だが、山頂同様、ガイドブックにあるような展望はない。木の間越しに愛宕山方面が覗ける程度だ。傾斜は緩くも、多少の起伏があり、疲れた脚を苛める。やがて林道終点に着き、そこからはまた山道となる。城丹尾根方面が見えるところがあった。この日唯一の展望場所だ。やがて、峰山を前にする。当初の計画では迂回するのだったが、相談の上、これを登ることにした。標高差 40m 程で大した登りではない。山頂 538m でここも展望は無し。峰山からの下山道は、地図にもガイドブックにも記載のない道で、当初の計画道より西側の尾根を通る。ヤマレコ等の情報ではこの道の利用が多い。やがて高山寺の寺域をかすめ、白雲橋北詰辺りに降り立ち、周山街道を北進して「梅ノ尾」バス停に向かった。

この日のルートは、最初の林道は谷道だが、そのあとはずっと森の中で、展望はあまり利かなかった。ガイドブックの記事は、峰山からの道の不記載も含め、賞味期限切れだ。それはともかく、静かな森を楽しみ、ゆっくりじっくり歩けた。なお、道中で、鹿 2 頭、アサギマダラ 2 頭×2 を目撃した。

帰りのバスは、当初想定した 3 本のバスの一番後の便であった。

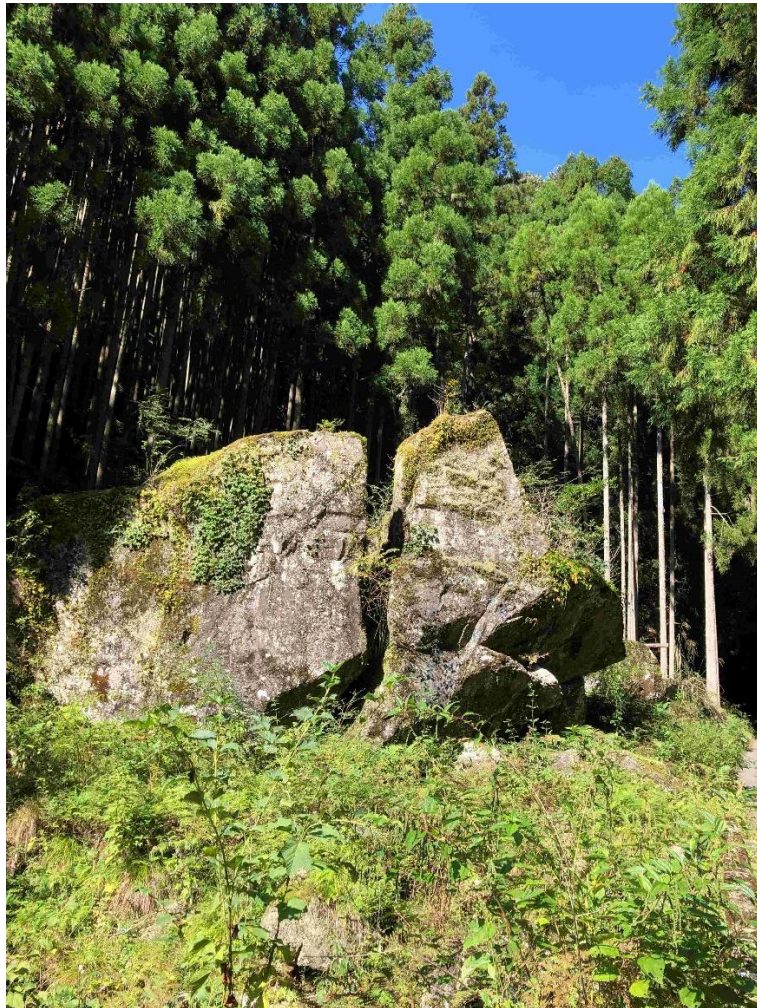
以下、写真 8 点



清滝川への下り



浪切不動尊像



谷山川林道の巨岩



谷山 6号橋。ここから林道右に山道を上がる。



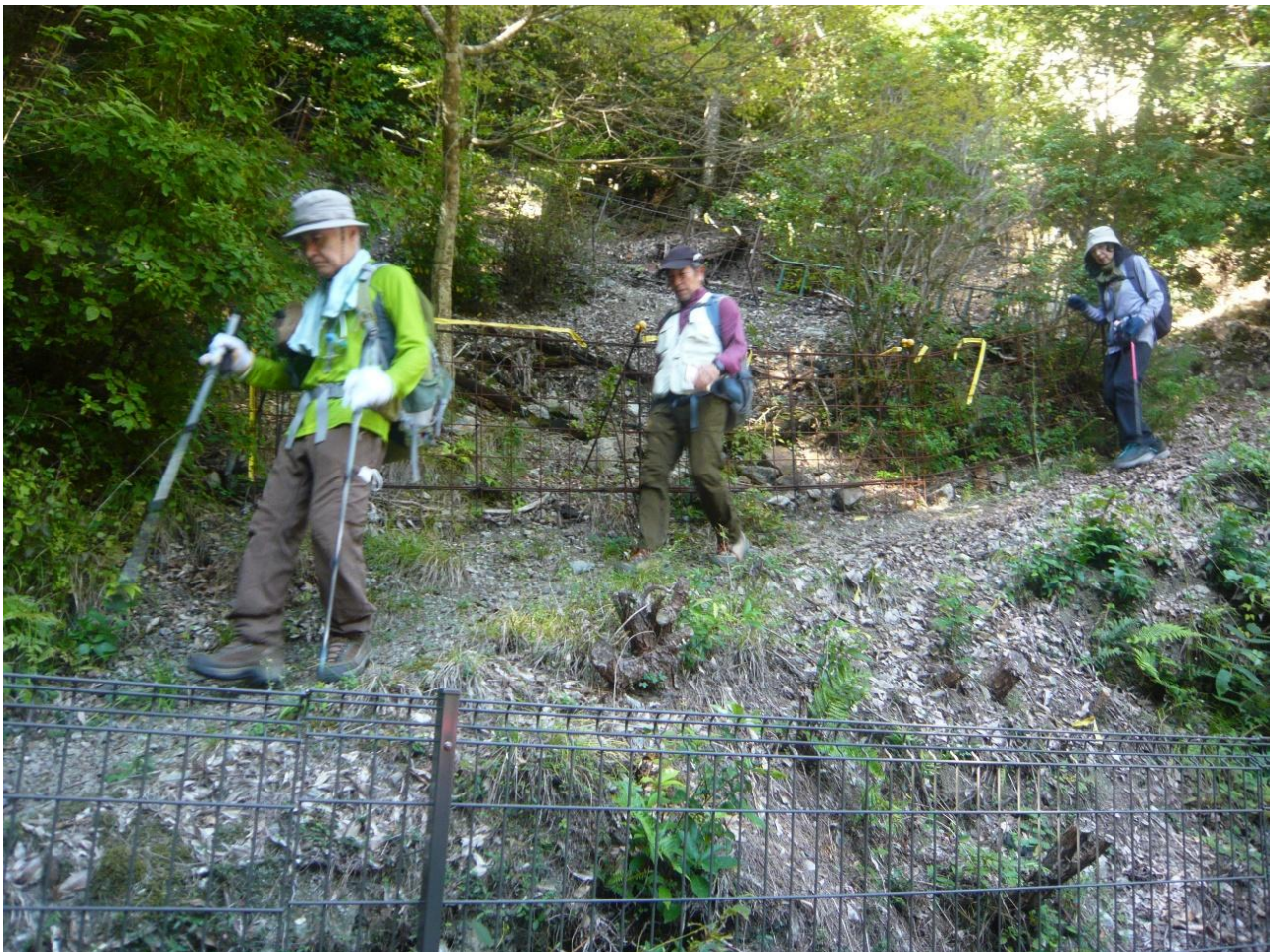
松尾峠にて



朝日峰山頂



峰山



周山街道白雲橋付近に下山